

畝傍東幼稚園の研究テーマ

笑顔きらきら、夢中になって遊び込める子どもの育成

研究の切り口 → ～子どもの『やってみたい』を引き出す援助と環境構成の工夫から～
 キーワード：いきいき・わくわく・のびのび・ぐんぐん ↑ + 幼小接続

<一人ひとりの子どもが…>

- 自分らしくいきいき遊び、
- わくわくと心弾ませ、
- のびのび活動することで、
- ぐんぐん成長できる。

<目指す子ども像>

- ◎ 心豊かで優しい子
- ◎ 元気いっぱいたくましい子
- ◎ いきいきと遊べる子
- ◎ 自分の思いをのびのび表現できる子

<スムーズな幼小接続へ>

R6～7年度の奈良県「協議主題」→幼児教育と小学校教育の円滑な接続推進について

幼稚園での「遊びや生活を通して得た学び」をもとにして

「小学校に入学することが楽しみだ」と思えるようにする。

<子どもたちの育ちは連続している>

- 小学１年生や５年生などとの交流を通して、小学校を身近に感じられるようにする。決して小学校の先取りをすることではない。
- **アプローチカリキュラム**⇒幼稚園での遊びや生活を通して得た学びを小学校の学習や生活につなげるようにするためのカリキュラム
 ★日常活動の中で自然にひらがなや数などに触れ、言葉に対する興味や関心を高めながら、時間やルール・自分の役割などを意識して過ごせるようにする。
- **スタートカリキュラム**⇒小学校に入学した子どもが幼稚園での遊びや生活を通して学んだことを基礎として、新しい生活を作り出していくためのカリキュラム
- 小学校教員と保育士の交流を通して職員相互の信頼・協力関係を築く。

<遊びは学び!>

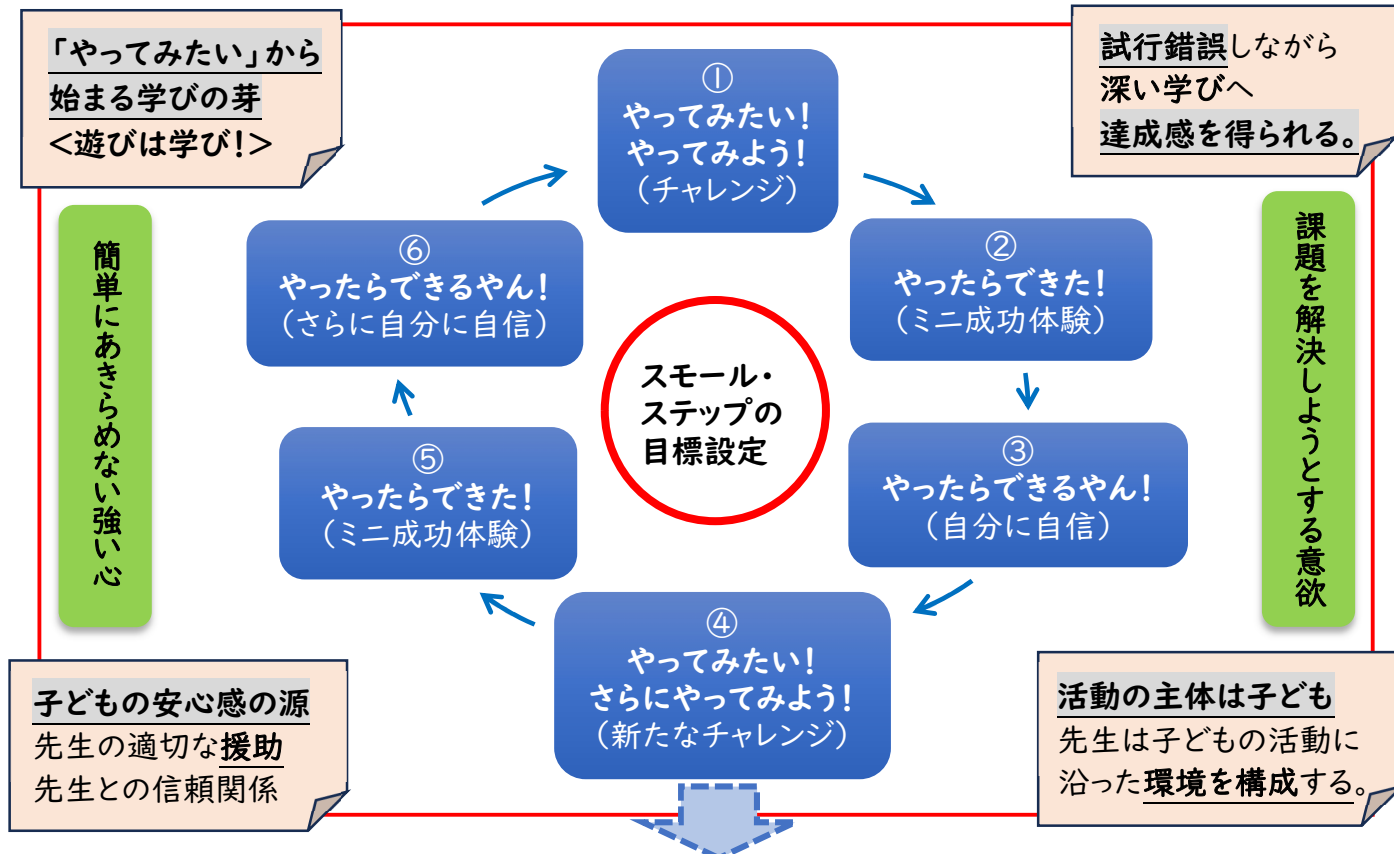
- ★遊び込む経験は小学校以降の学びにつながる!
- ★良い経験は、子どもたちの宝物!

育てたい10の姿

小学校入学が
楽しみだ!

<子どもが成長していく一つのイメージ例>

プラス思考の好循環

心豊かに たくましく!
<自己肯定感・Well-being の向上>**★失敗しても大丈夫!⇒試行錯誤して、課題解決に取り組むことが子どもの生きる力となる。**

- ✓ うまくいかなかった原因を確認したら、後はひたすら前を向いてチャレンジする。
- ✓ 簡単にあきらめずに、粘り強く解決に取り組むことが子どもたちの学びとなる。

■自己肯定感・Well-being とは・・・

自己肯定感とは「ありのままの自分を認める感覚」を言います。「何があっても大丈夫」というポジティブな気持ちがいろんなことに好影響を与えます。最近よく聞かれる Well-being (ウェルビーイング) は身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味し、多様な個人一人ひとりが幸せや生きがいを感じられる良い状態を言います。

■自己肯定感が高まると・・・

- ★何があっても大丈夫と思える。
- ★自分にはいいところがある。
- ★自分のことが好きになる。
- ★自分が人の役に立っている。
- ★前向きに関わろうとする。
- ★自分のことを大切に思う。
- ★ありのままの自分を受け入れる。

遊びは学び 学びは遊び “やってみよう”が学びの芽

～「やってみよう」から始まる学びの芽 知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力の育成～


<https://www.youtube.com/watch?v=UxfAI3XWfGo>

令和5年度 幼児期及び幼児小児期の教育の理解増進事業 株式会社 ベネッセコーポレーション 成果物

“やってみよう”が学びの芽

左は「文部科学省が作成した動画」です。

<https://www.youtube.com/watch?v=UxfAI3XWfGo>

子どもたちが日々の活動の中で遊び込み、試行錯誤しながら学んでいる様子や遊びや生活を通して得た学びが小学校でどのようにつながっているかがわかります。